

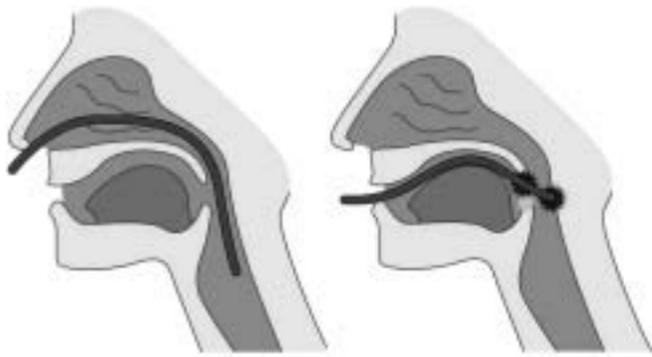
西宮市立中央病院では、より安全で苦痛のない消化器内視鏡検査・治療をめざして、また患者様の不安感をできる限り取り除くよう配慮することを目的として、新たに内視鏡センターが10月上旬にオープンします。

最新のカメラシステム

消化器疾患に強みの内視鏡

鏡検査は平成13年度、約500件だったのが、平成17年度には、636件へと年々増加してきました。今後もこれまで以上に、多くの患者様へ最先端の高度医療を提供いたします。

内視鏡センターで取り扱う検査の主な内容は、上部消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラのこと)、と下部消化管内視鏡検査(大腸ファイバー)で、これらの内視鏡を使った検査や治療の多くはこの内視鏡センターで行います。近年、消化管検査と治療における技術の向上、および内視鏡機器の発達には目を見張るものがあります。当院では、上部消化管内視鏡検査は平成13年度、約1700件だったのが、平成17年度には2213件、下部消化管内視



(左図) 咽頭反射が軽減される経鼻内視鏡挿入イメージ
(右図) 従来の経口式内視鏡の挿入イメージと咽頭反射

負担を軽減する経鼻内視鏡

当センターのオープンにあたり、最新型の「経鼻内視鏡けいびないしきょう」

を導入いたしました。経鼻内視鏡とは、通常の胃カメラのように、口からカメラを挿入するのではなく、鼻からカメラを挿入する最新のカメラシステムです。これまでに胃カメラの検査を受けられた方は、嘔吐反射の「オエー」という不快を経験された方も多いと思います。この経鼻内視鏡は、経口式カメラが苦手な方でも、違和感なく検査を受けていただけます。



左から、通常の胃カメラ、経鼻内視鏡、経鼻内視鏡の口径は、鉛筆より細い

このほかにも、経鼻内視鏡では、経口式内視鏡と違い、検査中、患者様との会話が可能であり、咽頭反射の強い方には朗報です。ただし、組織学的検査は可能ですが、治療処置はできません。また、鼻腔が狭い方では経鼻挿入ができない場合があります。前処置も従来法とは異なりますので、ご希望の方はあらかじめ予約時にお知らせください。

内視鏡センターOPEN

患者様の視点に立つて改築された内視鏡室

内視鏡室の改築にあたり、希望者に対して苦痛のない鎮静下麻酔による内視鏡も可能となりました。緊張と不安で、検査・処置が終われば、一刻も早く帰りたいという患者様の心理状態を取り除き、次もここで検査・治療を受けようと思っただけの魅力のあるセンターを目指し、最新の設備と技術を駆使して取り組んでゆきたいと思えます。

主な対象疾患

内視鏡センターでは、胃カメラによる上部消化管検査および大腸ファイバーを用いた大腸癌2次検診などの検査も行えます。

病院内で連携を図る内視鏡センター

内視鏡的切除の適応がないと判断された消化器疾患に對しても、当院外科の低侵襲手術治療チームにより、腹腔鏡下胃切除や腹腔鏡下大腸切除等の低侵襲治療が積極的に行われています。

手術後は、消化器センターへご入院いただき、消化器内科と消化器外科の専門医によるチーム医療を提供いたします。

今後、急性期病院・地域支援型病院として、地域に開かれた成長するセンターを目指してスタッフ一同取り組んでゆく所存です。病気に對する治療はもちろんだが、病気に對する不安などでお悩みの患者様がおられましたらお気軽に当院へご相談ください。

内視鏡センターのご利用を希望される方へ

下記の方法を經由して、内視鏡センターで検査や処置が行われます。

当院の外来診察および病棟に入院された場合
地域のかかりつけ医(診療所)の紹介による来院



内視鏡センター部長
小川 弘之
日本内科学会認定専門医、指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医

充実する救急医療体制

内科2次救急をはじめました!

月曜日・水曜日(祝日除く) 内科2次救急 午後9時まで

開業医からの紹介患者・救急搬送患者を受け入れ、中央病院では7月18日(火)から、祝日を除く毎週月曜日・火曜日・水曜日の午後6時00分から午後9時00分まで、内科2次救急診療をはじめました。



《受け入れの対象となる患者様》
地域の開業医からの紹介患者
救急車による搬送患者

これまでは、地域の診療所で夕方に診療を受け、検査や入院が必要とされる患者様は、金曜日の2次救急

小児科2次救急・外科1次救急

月曜日・火曜日・金曜日(祝日含む) 小児科2次救急
月曜日・金曜日(祝日含む) 外科1次救急

夜間の救急対応可能な病院を西宮市では、病院群輪番制病院として、市内の病院が毎日分担して、救急医療体制を整えています。

中央病院も輪番制病院の一として、救急医療体制を整え、急な発熱、ケガなどの夜間の救急医療ニーズに応えられるよう取り組んでいます。

中央病院では、特に少子化対策、小児科不足などから必要とされる小児科2次救急医療体制については、祝日を含む月曜日・火曜日・金曜日の3日間対応できる

必要と診断した内科の患者様と救急車による搬送患者様を、中央病院で受け入れることができるようになります。

なお、地域の診療所の医師は、中央病院へ紹介される際に、患者様に紹介状を手渡されますので、ご来院の際には、必ず診療所の先生の紹介状をご持参ください。

紹介状をご持参いただくことで、救急担当医が患者様の病状を迅速に把握することができ、ご協力くださいますようお願いいたします。

中央病院の救急医療体制

区分	月曜日	火曜日	水曜日	金曜日
小児科2次救急	18:00~翌朝7:00	18:00~翌朝7:00		18:00~翌朝8:00
外科1次救急	18:00~翌朝8:00			18:00~翌朝8:00
外科2次救急				18:00~翌朝8:00
内科2次救急	18:00~21:00	18:00~21:00	18:00~21:00	18:00~翌朝8:00